

はばたけ!

帯広市立大空中学校だより

星と森の大空へ

No.15 令和元年 9月13日発行

～ 学校教育目標 ～

北の文化を拓く

「明るく健康な心身と個性

豊かな英知を育む」

新学期のテストシリーズ終了! 自分に勝ち抜ける!

2学期が始まり、およそ3週間。この間、1学期後半から夏休みの取組の成果を互いに見せ合う、「英語暗唱」や「意見発表」などとともに、2、3年生は学力テスト、先週は全学年で期末テスト、そして今週は、3年生の進路希望選択に向けた重要な学力テスト「総合A」が行われました。3年生にとっては三週続けてのテストで、ちょっとしんどく、また受験に向けての緊張感も高まる時期となりました。

学力テストはもちろん、6月の定期テストに比べて、9月の期末テストは全学年とも範囲が広く、難易度も高くなり、ちょっとのがんばりではなかなか得点に結びつかないのが現実です。家庭学習の質と量も問われてきます。

こうした中、各教室での授業を参観していると、先生の話にしっかり耳を傾けながら、真剣に学習に向かう様子がうかがえます。ここが本校の子どもたちの良いところです。

ともすれば、早く終わらせたくて、ついつい雑になって、字が汚くなり、そのことでうっかりミスをしてしまう、なんていう悪循環もありがちですが、子どもたちのノートを覗くと、大空の子ども達はなかなかの集中力で、しっかりまとめ上げたいいノートをつくり、まじめに、真剣に、授業に臨んでいる子ども達がたくさんいることが伺えます。うれしいがんばりです。

さて、人が生きることで大切にしたい、3つの「カエル」の話をご存じでしょうか。

一つは、「カンガエル(考える)」というカエルです。勉強で難しい問題に出会ったり、部活、普段の生活や友達とのかかわりなど、私たちには、毎日いろんなことが起きて、時には悩んだり迷ったりするものです。生きることは考えること。このカエルは、自身を大きく、賢くしていくカエルです。

二つ目は、「キリカエル(切りかえる)」です。たとえば親に叱られて気分が真っ暗になっているとき、部活動の大会で相手が強くて試合で負けてしまったとき、難しい問題に挑戦していくら考えても答が浮かんでこないときなど。終わったことをいつまでもよくよしないで、次は頑張ろう!という自身を励ましていくカエルです。

三つ目は、「フリカエル(振り返る)」です。キリカエルとは逆のことをします。もう終わってしまったことを振り返ります。私たちはよく「反省会」をしますが、これも振り返りの一つです。では、なぜ反省するのでしょうか。それは、なぜ失敗したのか、うまくいかなかったのか振り返ってみて、この次に生かしていくカエルです。

テストシリーズが一段落し、文化祭の取組が始まりました。多くの部活動では新チームで新大会に挑んでいます。が、「カンガエル」、「キリカエル」、「フリカエル」、三つのカエルをもって、がんばってほしいのです。

校長 黒島 俊一



テスト風景から「カンガエル」



テスト返却風景から「フリカエル」

校内英語暗唱大会



夏休み中の課題として、たくさんのエネルギーをかけて取り組んだ英語暗唱と意見発表の学級・学年・校内選考が行われました。

堂々とした暗唱と発音のよさ、表現力に感心し、また意見発表もそれぞれの視点で中学生らしい意見発表がまとめられ、素晴らしいものでした。意見発表は、文化祭でも代表生徒による発表を予定しています。

意見発表大会



大空地区連合町内会の会長 久保竹雄氏を講師に、ふるさと大空の歴史と発展を学ぶ学習が、1年生で行われました。

昭和40年代からの大空の歴史をよく知る久保氏ですが、学校の様子、大空地区の商店街やまちの様子、生活の様子、銭湯があった頃の話など、スライドも活用し、エピソードも交えながら、細かく、丁寧に教えていただきました。

最も多いときには、大空地区に9600人ほどの人が住まわっていたこと（現在は4360人ほど）、学校内では人が多くて、体がぶつかってしまうことも珍しくなかったこと、公園には土俵があって遊び場になっていたことなど、子どもたちは、現在とは随分違う当時の様子に聞き入っていました。

ふるさと学習 大空の発展と今



本校吹奏楽部による、帯広刑務所矯正展での演奏（9月8日）から。

明日14日、大空まつりでも午後2時から演奏をする予定です。コンクールのみならず、こうした地域に積極的に向かい、音を奏でながら、きかれる人たちに癒やしと安らぎを与えてくれることは素晴らしいことです。（写真上）

大空地区義務教育学校の校名アンケートが集約され、応募の多かった上位10校名を元にした最終アンケートが、子どもたちを対象に行われています。（候補名 おおぞら 大空 おおぞら学園 大空学園 大空小中 おおぞらの森 大空の森 帯広の森 新星大空小中学校 空の森 それぞれ末尾に義務教育学校がつきます）加えて、制服、ジャージについても検討が進められています。

（下記：十勝毎日新聞記事から 9月10日記事から）

大空小中統合校
校名候補を絞る

準備協議会

帯広市立大空小・大空中を統合し2022年度に開校予定の義務教育学校について議論する準備協議会が同中で開かれ、新校名の候補を絞り込んだ。

6日開催の協議会は大空小中のPTAや大空町連合自治会の役員などで構成。新校名案は同小・中の児童生徒や地域住民らから募り、

63点の応募があった。協議会の委員による投票では「大空（義務教育学校）」「大空学園」「空の森」の順に得票を集めた。協議会は上位10点を候補とし、今後児童生徒らにアンケートを実施。10月に最終候補を決める。

委員からは「低学年の児童にも親しみやすい校名にすべきだ」との意見があった。このほか、校歌や校章を決めるスケジュールなどを確認した。（佐藤 諒）

タヌキとキツネ
新居で生き生き
おひろ動物園

おひろ動物園に飼育するエソタヌキ2頭とキツネ1頭の新舎がそれぞれ完成した。これまでより広く、スロープやトンネルなどが設置され、生き生き

本日、大空中学校の教育に関する上半期アンケートを、封筒とともに配布しました。ご協力をよろしくお願いいたします。